



CORPORATE PROFILE

立飛の空は、
世界へ続く空だ。





豊かな自然と都市機能、武蔵野の文化と歴史とが生き続ける立川。その中心に広がる立飛98万㎡。ここで、わたしたちはつくる。企業と地域の人々が共存し、未来を育てていく街を。ここで、わたしたちは夢を見る。世界の人々が、日本の地域で生まれる物語を楽しむ日々を。立川に住う、立川に集う人々が、世界に誇れる豊かな価値創造へ。立飛の上に広がる空は、きっと、世界の人々の夢とつながる空になる。

OUR POLICY

経営理念

不動産事業を中核に従業員の幸せを通じて社会貢献する。

VISUAL IDENTITY

コーポレートロゴへの思い



「立飛グループ」のコーポレートマークは躍進 活力 融和を表すオレンジと

誠実 信頼 調和を表すブルーで構成されております

かつて陸軍飛行練習機「赤とんぼ」戦闘機「隼」の製作を手掛けた

「立川飛行機」以来の伝統とグループが所有する広大な土地の上に広がる空に思いを馳せ

その空を飛翔する「飛」をイメージし立飛企業株式会社と新立川航空機株式会社の中核2社を

「幸せをすくいあげる両手」で表現しつつ それらがひとつになった姿として「赤とんぼ」に使用した

伝統色のオレンジと無限の広がりをもつ「空」のブルーに託し明日に向かって飛躍することを表しております

(平成24年11月1日制定)



躍進・活力・融和



誠実・信頼・調和

MESSAGE

ご挨拶

立飛グループは、1924年(大正13年)に株式会社石川島飛行機製作所として設立された、のちの立川飛行機株式会社が前身の会社です。

新宿から30分に満たない立川の中心に約98万㎡の広大な敷地を所有しており、地域社会の発展と賑わいの創出を目指して事業を展開しております。

所有地のほぼ中央に位置する多摩モノレール立飛駅周辺には「アリーナ立川立飛」「ドーム立川立飛」「タチヒビーチ」など、地域の人が集える施設を開発し、プロスポーツやエンターテインメントの他、多様なイベントを数多く招致しております。

ウェルビーイングをコンセプトとして2020年に開発した複合施設「GREEN SPRINGS」は、日中のオフィス空間、食やショッピング等の提供のみならず、その豊かな環境を地域の方々へ24時間開放しています。また、国営昭和記念公園の大自然を前庭とし、最上階にインフィニティプールを有する「SORANO HOTEL」、芸術・音楽・スポーツも楽しめる唯一無二の多機能ホール「TACHIKAWA STAGE GARDEN」も開発し、日常生活の中で愛される街として成長しています。

そして2023年には西国立駅すぐそばに、立川から世界へつながる、かつてない日本の食文化の発信を目指す「オーベルジュ とくと」もオープンしました。

社会の変化が著しく、新しい価値創造が求められる現在、社会資本財と捉えている大規模・好立地の資産を地域社会にとってどのように有用に活用し未来を描いていくかが、私たちの責任であり使命です。

立飛グループは、100年目を迎え、いっそう地域とともに、人々が次に求める未来を創造していきます。

株式会社立飛ホールディングス
代表取締役社長

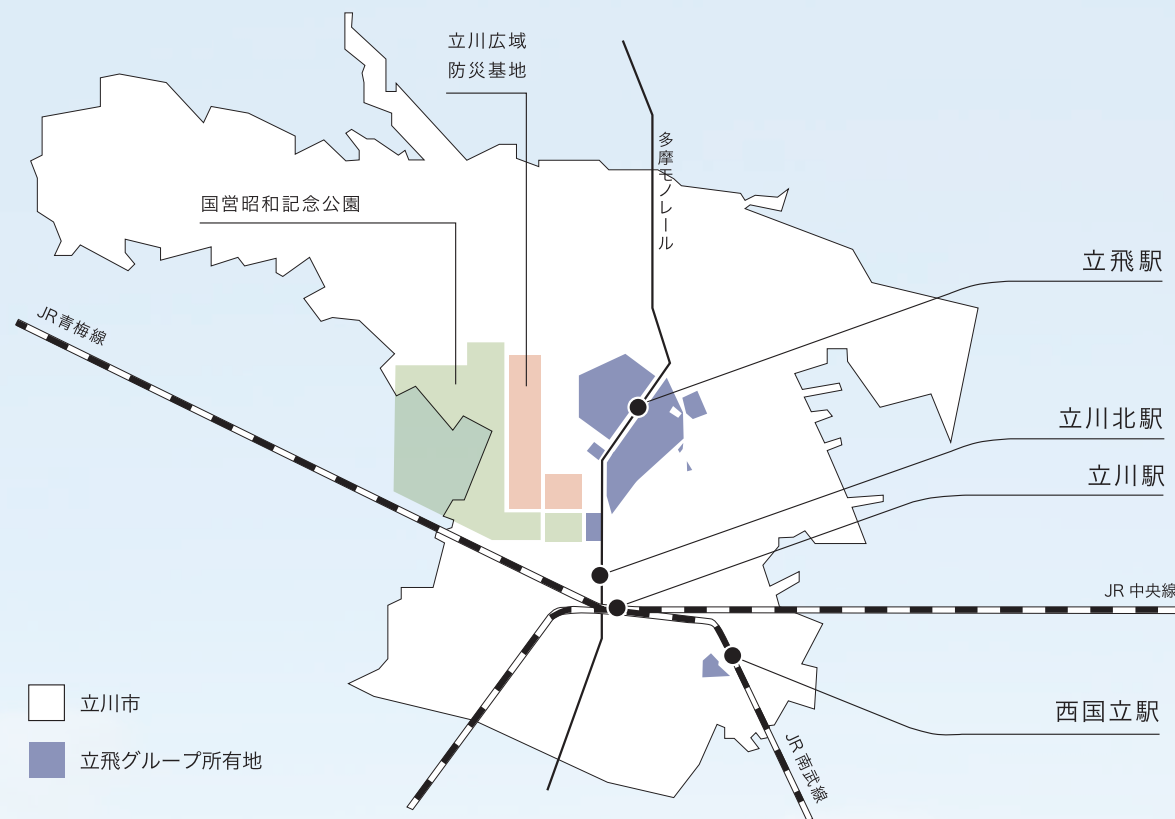
村山正道



REAL ESTATE

所有不動産について

立川と共に歩む企業とは、を問い続ける。
地域社会と調和し、
社会のあらたな価値を創造する。



東京都多摩地区の中心都市立川。この地域の発展が、住む人々・集う人々の幸福へ寄与し、その未来を豊かに彩るものであるために。

立川市域の約25分の1にあたる約98万㎡の所有地を社会資本財と捉え、様々な未来を見据えた、個性ゆたかな事業を支えています。



不動産開発の基本方針(3原則)

01

所有する不動産について、その歴史、立地、面積に起因する社会的責任を自覚し、再開発にあたっては地域社会との調和を図る。



02

持続的な地域社会へ貢献を可能とし、それを支える事業基盤の確立を図る。



03

当社グループが主体性をもって不動産開発を推進する。

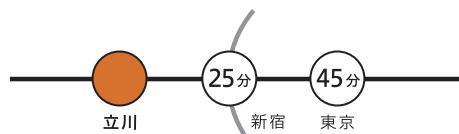


所有不動産の一体再開発についての計画を、外部の専門家等の提案を受けながら策定しています。敷地が広大なこと、多様な利用契約による制約が複雑なことから必然的に長期間に亘る開発となります。一貫性のある再開発を行うために、同方針を策定いたしました。

立地

新宿駅から
立川駅まで

約 **25** 分



※ 羽田空港から約100分 / 成田空港から約180分

敷地面積

東京ドーム

約 **21** 個分

立飛グループが所有する約98万㎡の土地は東京ドーム施設全体の約21個分。これは立川市全体の広さの約25分の1にあたります。さらにそのほとんどが立川市の中心部、立川駅から約2km圏内に位置しています。

※東京ドーム施設全体の敷地面積 = 46,755㎡

所有物件棟数

約 **160** 棟

立飛グループが所有する物件棟数は約160棟。倉庫、オフィスを含め、さまざまなニーズにお応えします。

倉庫	オフィス	工場・店舗・その他
35%	11%	54%

BUSINESS AREA

事業領域及び紹介

立飛グループの6つの事業。
それぞれが、常に「あたらしい価値」創造へ

時代の先端技術の粋であった
飛行機製作を起源に持つ立飛グループ。
その創業時の進取の精神を受け継いだ
6つの事業を展開しています。
変化の激しい現代において、
不動産関連事業を中核にグループが一丸となり、
社会のニーズを的確に捉えとともに
地域社会における「あたらしい価値」を見つけ、
創造し、提供し続けています。





1	2 - 3	
4 - 5	6	7
8	9	

1.不動産賃貸: 所有する倉庫、オフィスビル、店舗や土地等、法人の皆様のニーズに合わせて所有物件を紹介。各事業とも連動し影響し合う中核事業です。

2-3.不動産開発: 所有する約98万㎡の土地の歴史、立地、規模による特別な社会的責任を自覚し、地域社会との調和と、地域の未来を見据えた、個性溢れる開発に取り組んでいます。

4-5.施設管理: 数多い施設や設備の管理を担う重要な事業。定期的な点検や補修工事、故障の迅速な修理対応の他、清掃、植栽管理等まで、幅広いサービスを受け持ちます。

6.警備: 顧客と地域の皆様の安全と安心を保守する。訓練により培われた高度な警備技術と自衛消防技術を基礎として、警備(常駐・施設・交通誘導・雑踏等)業務に取り組んでいます。

7.保険代理店: お客様のニーズをいち早く掴み有用な保険を提案する他、自動販売機による商品の販売等を行っています。**8.9.ホテル事業/ビール製造・販売:** 従来のホテルの常識を超えた「ウェルビーイング」をコンセプトとした「SORANO HOTEL」や、日本の食文化発信拠点を目指す「オーベルジュ」ときの運営。立川発のクラフトビールの製造・販売まで取り組みます。

TACHIHI STATION AREA DEVELOPMENT PROJECTS

事業領域及び紹介



立飛グループの所有地はほぼ中央にある
多摩モノレール立飛駅。その周辺では地域社会への
貢献を目指した開発に取り組んでいます。



立飛駅を中心とした 開発の様子



Fuji 赤とんぼ保育園



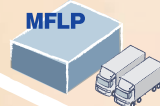
ドーム立川立飛



アリーナ立川立飛



夕チヒビーチ



ムラサキパーク立川立飛



MAO RINK TACHIKAWA TACHIHI



立飛麦酒醸造所



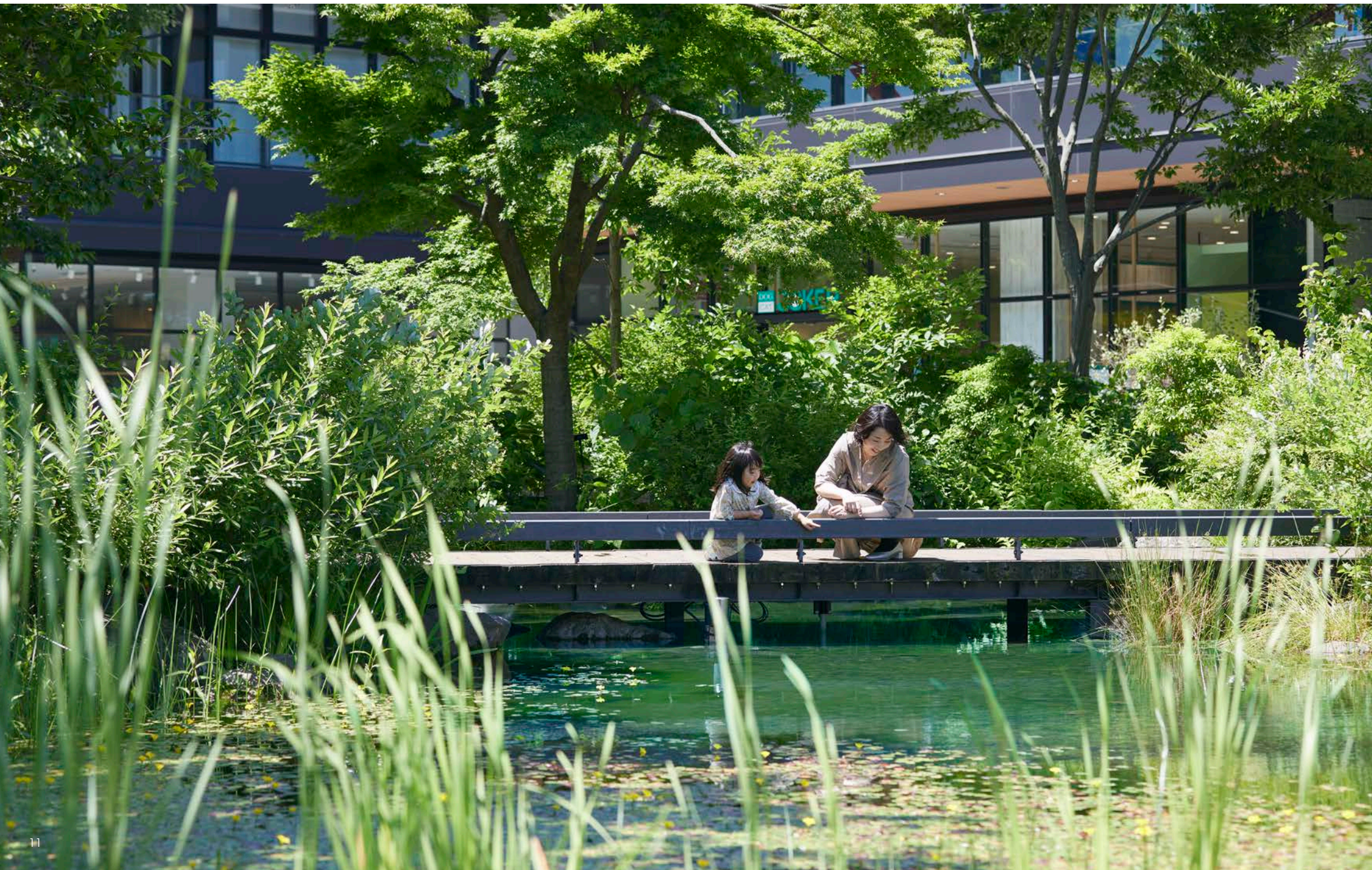
金田スイミングクラブ立川立飛



01 | GREEN SPRINGS

この地から世界へ。あたらしいライフスタイルを提案する複合施設です。

ウェルビーイング＝心身ともに健康で心地良い状態を提供するために、約1万㎡の水と緑豊かな広場を中心に、ホール・ホテル・ショップ・レストランなどが配置されています。

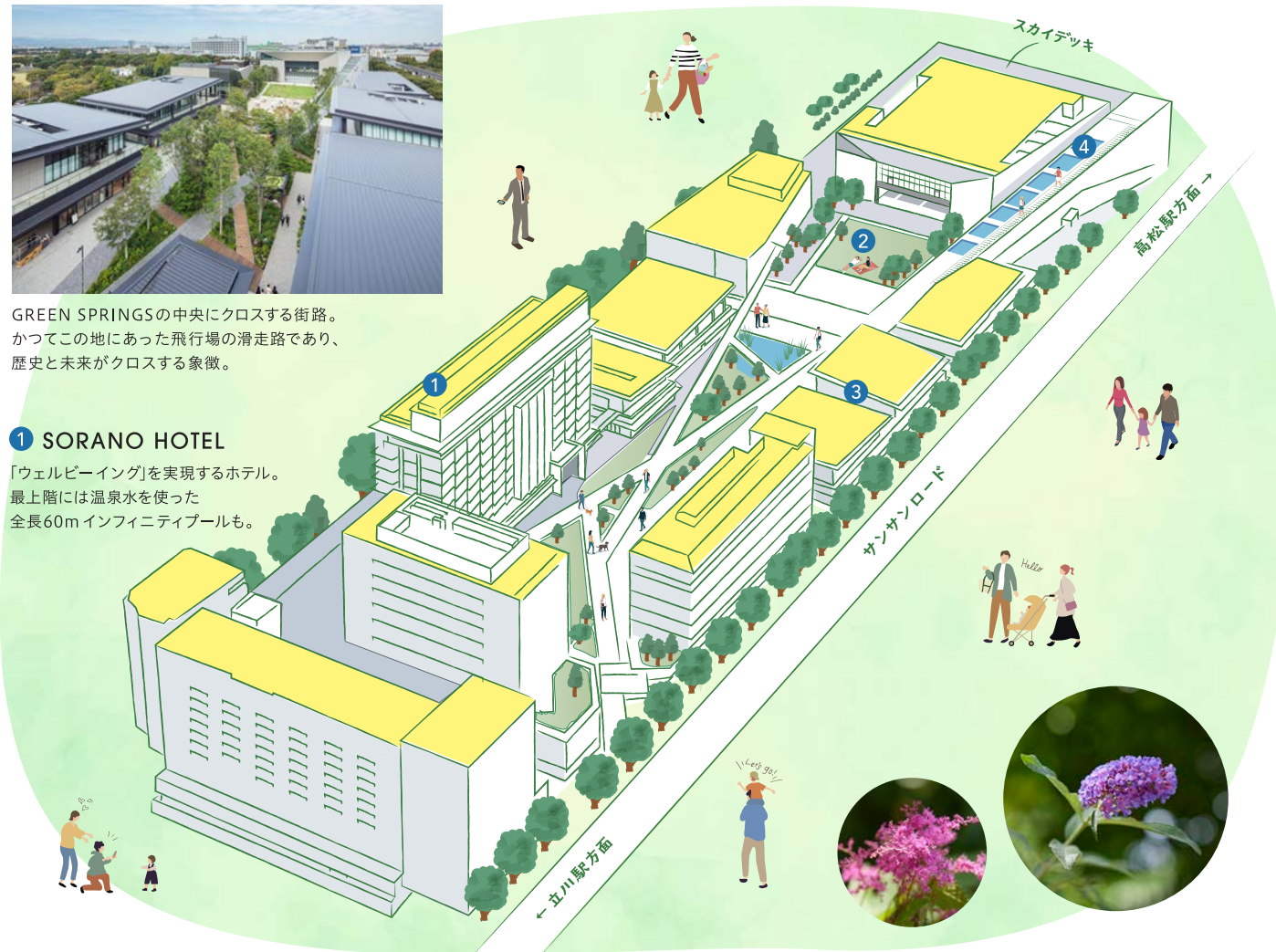




GREEN SPRINGSの中央にクロスする街路。
かつてこの地にあった飛行場の滑走路であり、
歴史と未来がクロスする象徴。

① SORANO HOTEL

「ウェルビーイング」を実現するホテル。
最上階には温泉水を使った
全長60m インフィニティプールも。



② 芝生広場



地域の人々の自由な遊び場となっている芝生の中央広場。

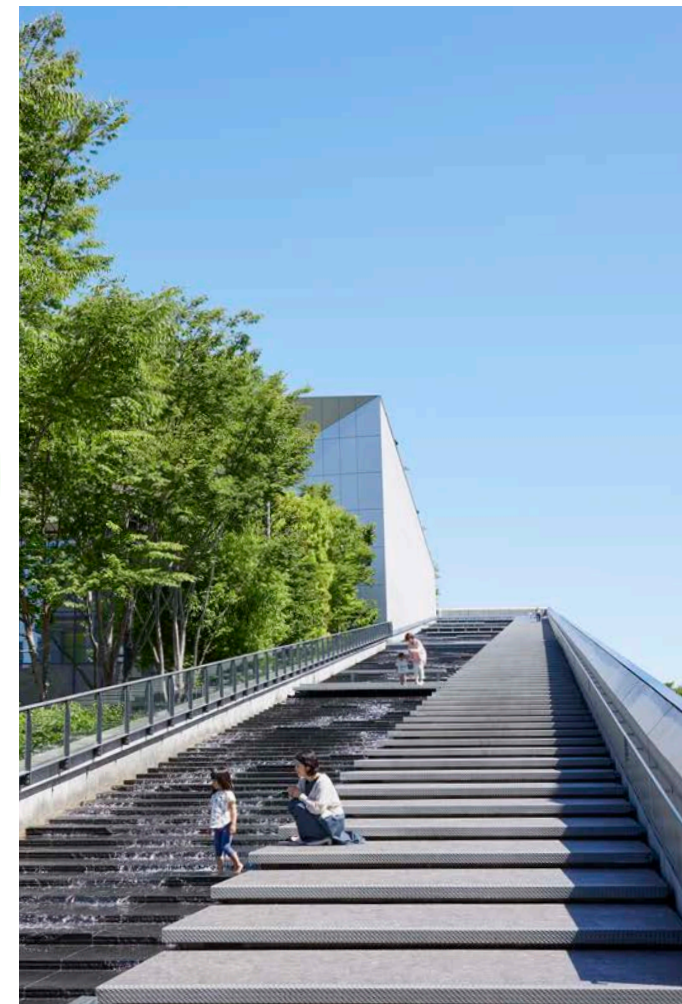
③ RESTAURANT & SHOP



食・ファッション・グッズ・アートなど。ライフスタイルを豊かに彩る約40店舗で賑わう。



④ カスケード



X字の街路が空へ伸びていく。多機能ホール「TACHIKAWA STAGE GARDEN」横の
水の流れる階段カスケードは、子供たちの格好の遊び場。



02 | SORANO HOTEL

東京にあって東京を感じない新発想のホテルです。新宿からたった30分で非日常へ。
大きな空を実感できる、ゆたかな緑を望む全室パークビューの客室。リゾートのような心地良い時間の中で、
食・温泉・スパなど、様々な癒しを気軽に楽しむ「ウェルビーイング・ショートトリップ」もご提案します。

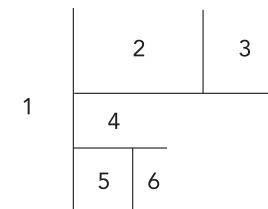
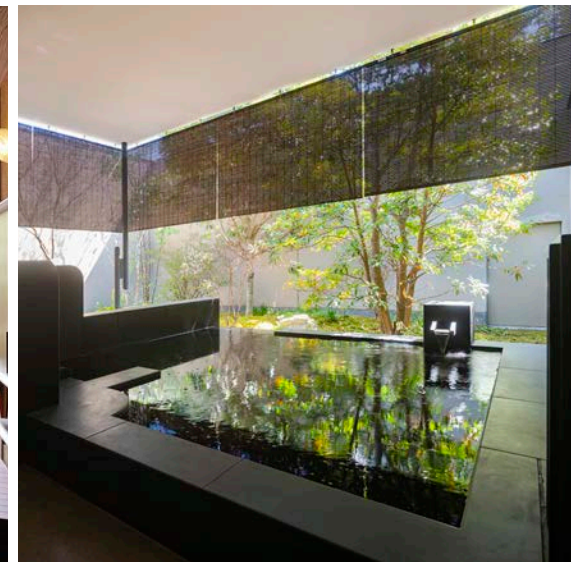


1

2	3	
4	5	

1. 約60mの規模を誇るインフィニティプールからの絶景。遮る物のない180度の視界に、丹沢山系の山並みと富士山が一望できる。2. ホテルを昭和記念公園側から望む。全室がパークビュー。3. 客室は最小でも52㎡以上の快適サイズ。大きくとられた窓とバルコニーからは、公園の豊かな緑を望み、大きな空を感じることができる。インテリアは、フランスの世界的デザイナー、グエナエル・ニコラ(Gwenael Nicolas)氏が担当。シンプルでナチュラル、機能性と洗練を備えた空間。4. ウェルビーイング・ステイとの出会いの空間・玄関アトリウムとラウンジ。5. 寝具、タオルなどのリネン類は、自然素材とクオリティを追求したソラノクオリティ。

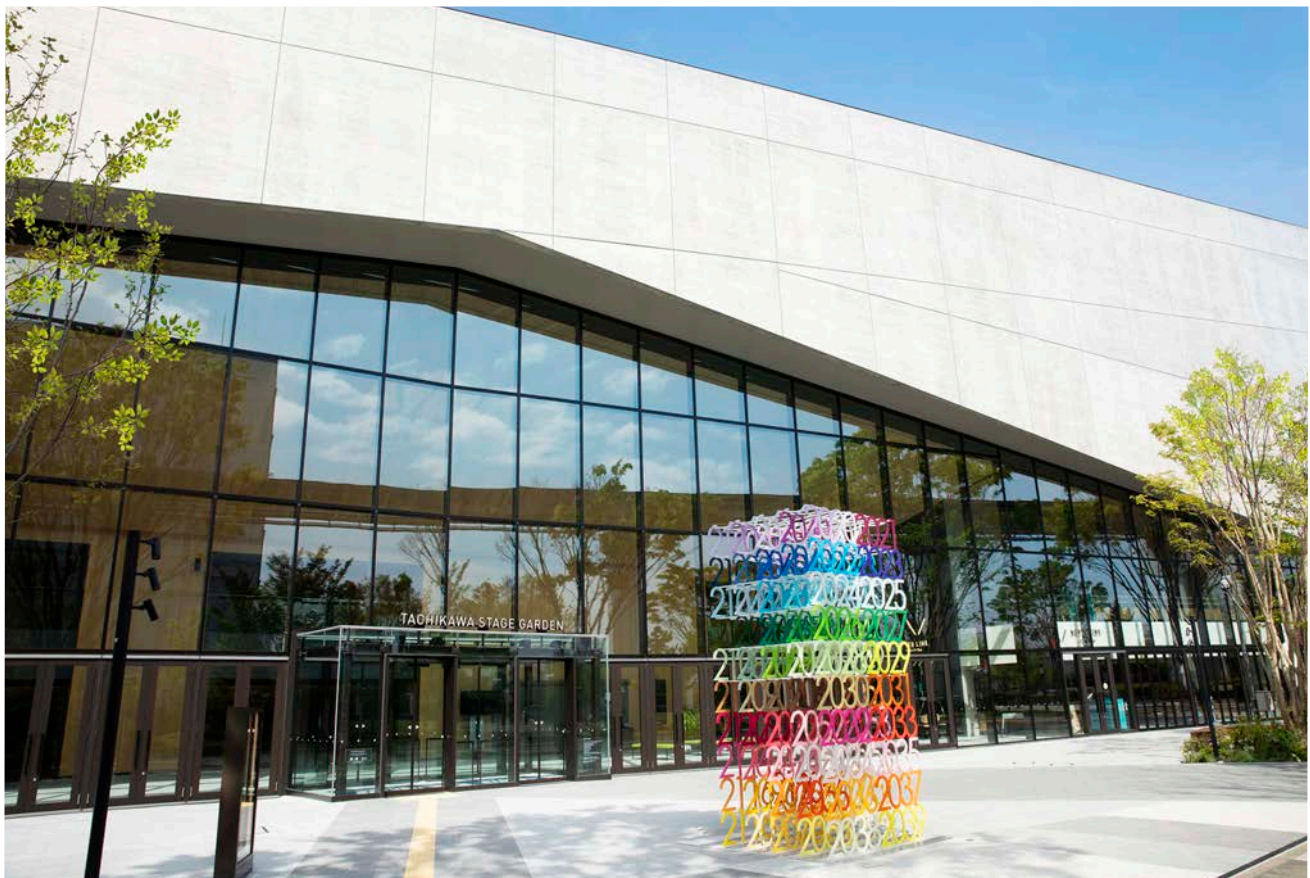
世界中に愛される「日本食」。その素材の魅力を探求し、
未来を求め続ける料理人の魂と、その味を最大に引き立てる空間。
世界の食通が注目する、日本「食」の「再生と進化」が、この場で生まれています。



1. 玄関から通じる露地が、訪れる方を日常から非日常へ。2. 心身の回復をテーマにデザインされた「宿房」は全て106㎡、一日四組限定。3. 地下1,300mから汲み出した温泉かけ流しの露天風呂が各部屋に。スパトリートメント専用のスペースを併設する。4. 「鮪節 焼き筍」ときとの土地に生えていた紅葉を削りぬいて作った高台椀にて。5. 「茶請箱」茶房でのアフタヌーンティーで提供される和洋で構成された品々。厳選された日本全国のお茶と共に。6. 前身である名料亭「無門庵」の歴史を残す長屋門に刻まれた「ときと」のロゴ。

多摩地域最大規模の約2,500席、スタンディング時の最大収容人数が3,000人を超えるライブエンタテインメントホール。2階客席後方のスライディングウォールを開放すると屋外ステージとつながり、一体利用ができる多機能ホールです。





1
(左ページ)

2

3

4

column

100周年記念事業

立飛ホールディングスは、2024年11月に、創立100周年を迎えます。立川を文化・芸術・スポーツの街へ。その思いに寄与する様々な記念事業も開催しています。

立川立飛歌舞伎特別公演

宙乗りが圧巻! 名作『義経千本桜 忠信篇』を上演



©松竹株式会社

アロハ ハワイアンフェスティバル

GREEN SPRINGSが、
ハワイアン音楽とフラダンス一色に。



詳しくは左のQRコードから
ご覧いただけます

- 1階の客席部分は平土間にすることができ、センターステージやランウェイを組んだりあらゆる演出が可能。
- 開放感あふれる正面玄関。
- ロビーに設置している「STEINWAY & SONS」グランドピアノ「O-180」は1977年製造。ホールの利用が無い日は、フリーピアノとして貸出をしている。
- 低い位置にある2階客席からのステージはとても近く臨場感が味わえる。

TACHIHI SPORTS

立飛グループは、各種スポーツ施設の開発や管理、そして、スポーツイベントや選手への協賛、協力を通じて地域への貢献を続けています。



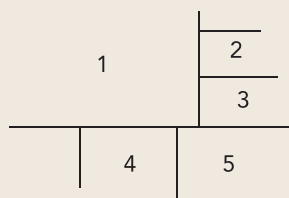
1	2	3	4
5	6	7	
8			

1. フェンシング女子サーブル日本代表として世界を舞台に活躍する江村美咲選手への支援。2. 敷地内施設「タチヒビーチ」で練習や試合を行う「東京ヴェルディビーチサッカーチーム」の活動を応援。3. 多くのプロボクサーやキッズチャンピオンを輩出する石川ボクシングジム立川の活動を支援。地域社会貢献や青少年育成にも注力。4. B3リーグ「立川ダイス」のホームは「アリーナ立川立飛」。当社グループはトップパートナーとして応援中。5. 2016年「平成28年夏巡業 大相撲立川立飛場所」を勧進元として開催(屋外)。その後、「アリーナ立川立飛」で開催。地域の方々も力士の迫力ある取り組みを堪能している。6. 元プロテニスプレイヤーの杉山愛さんを迎えてテニスフェスタを開催。7. 毎年3月上旬に開催される「立川シティハーフマラソン」へは特別協賛し、当社グループ役職員も参加及びボランティアを行っている。8. 「タチヒビーチ」ではビーチバレーの他、様々なビーチスポーツの大会が行われている。

ART

GREEN SPRINGSをはじめ、敷地内には多数の著名作家によるパブリックアートを設置。

また、地域の方々が参加するアートイベントも開催。地域の文化発展に貢献しています。



1. TACHIKAWA STAGE GARDEN入口前に在る「mirai」(作:エマニュエル・ムホー/emmanuelle moureaux) 2020年から2119年の100年を視覚化した彫刻。過去が未来を支える構造。2. 「三本のプラタナスの木としあわせな三銃士」(作:赤川政由)。再開発の際、伐採される予定だった三本のプラタナスを記憶する。

3. 良質な絹織物産地、飛行機製造という歴史と、GREEN SPRINGSという新しい街の未来が作品に織込まれた「GATE」。糸のドローイングを原点に持つ作家盛圭太の初めての金属による作品。4. 立川駅方面からGREEN SPRINGSへの入口に在る「上昇輝電」(作:中村哲也)。自然界の持つ曲線と飛行機のような工業製品のスタイリッシュな存在感が作品に凝縮。子供たちに大人気。5. 「TELEPHONE AFTER ALL」(作:アーバン・ニット/Urban knit) 階段スペースへ設置された公衆電話ボックスのような作品。モバイルに慣れた現代人に、距離の離れた人とメッセージを交わす意味を問わせてくれる。

CULTURE



達人戦 立川立飛杯／王将戦

日本将棋連盟主催の「達人戦立川立飛杯」を特別協賛。永世称号呼称者・資格者の4名をシード者とし、全国での予選を勝ち抜いた50歳以上のプロ棋士が、勝者の称号「達人」を目指してTACHIKAWA STAGE GARDENで公開対局する。他にも、22年以降所有施設が王将戦の対局会場になるなど、伝統文化である将棋を通じての地域貢献も進めている。



一式双発高等練習機 一般公開

2012年(平成24年)に青森県十和田湖から引き揚げられた一式双発高等練習機を展示一般公開(21年、22年開催)。同機は、当グループの前身・立川飛行機が機体を製作した。

COMPANY HISTORY

沿革

1924

株式会社 石川島飛行機製作所

11月
飛行機の設計、
製作、販売を事業目的として
株式会社石川島飛行機製作所を設立
現在の東京都中央区月島に工場新設

1930

3月
工場を立川へ移転

1934

12月
軍用制式機
「九五式一型練習機」
(赤とんぼ)を製作
(製作累計2,398機)



1936

立川飛行機株式会社

7月
立川飛行機株式に
商号変更

1949

11月
企業再建整備法により、
立川飛行機株式の現物出資で
第二会社「タチヒ工業株式」
(後の新立川航空機株式)を認可設立

接収を免れた
江ノ島工場等の設備により、
飯金関係各種製品の
製造販売業務を開始

1952

新立川航空機株式会社

11月
戦後国産第一号
R-52型軽飛行機
(JA-3017)完成

新立川航空機株式に
商号変更

1953

R-53型軽飛行機
(JA-3070号)完成



1954

R-HM型軽飛行機
(JA-3094号)完成

1955

立飛企業株式会社

立飛通商株式を設立
(現株式会社立飛プロパティマネジメント)

5月
立飛企業株式に
商号変更

1961

10月
東京証券取引所
市場第二部に上場

1976

5月
立川製造所が米軍より
返還となり、土地建物を
貸倉庫・自動車置き場として
賃貸以後不動産賃貸部門強化

1977

11月
接収されていた
全資産が返還

創業期からの積み重ね

さらなる挑戦のステージへ

2011

8月
立飛企業株式・新立川航空機株式の
2社に分断した所有不動産の
一体開発による地域経済への
貢献を主目的にMBO実行

2012

株式会社 立飛ホールディングス

11月
グループ事業再編が完了、
新生立飛グループとして
所有不動産の一体開発の検討開始

2017

10月
「アリーナ立川立飛」運用開始

2015

12月
「ららぽーと立川立飛」開業

2018

8月
「ドーム立川立飛」竣工

2020

4月
「GREEN SPRINGS」開放



6月
「SORANO HOTEL」開業／
「MFLP 立川立飛」竣工



2021

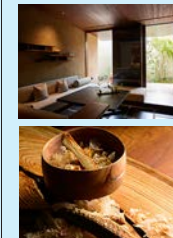
12月
「立飛麦酒醸造所」オープン



7月
「TACHIKAWA STAGE GARDEN」開業

2023

4月
「オーベルジュときと」開業



より詳しい沿革については
左のQRコードからご覧いただけます。

OUR VISION

私たちの未来像

失わないこと。
求め続けること。

立川の地で受け継いできた歴史と伝統を継承しつつ、
2012年に誕生した新生・立飛グループ。
大規模・好立地の社会資本財ともいえる不動産を
大切に活用し地域社会と共に築く未来とは何か。
私たちの幸せが、立川に住む人々の幸せであり、
その先に続く人々の未来と共にあることを信じて。



伝統へのリスペクト

TRADITION

責 任

RESPONSIBILITY

- 大規模・好立地の不動産という社会資本財を持つ会社としての責任
- 上場会社2社の株主からMBOによってすべての株式を取得した責任

目 標

TARGET

- 持続発展的な企業価値（純資産価値・収益力）の向上
- 地域経済・社会経済への貢献

未 来 像

FUTURE VISION

- 人(Everyone)を幸せにするために存在する企業
- 立川と共に歩む企業
- Only oneを目指す企業
- 地域で一番愛される企業

COMPANY OVERVIEW

会社概要



株式会社 立飛ホールディングス

会社設立年月日	平成23年7月26日 (グループ創立年月日 大正13年11月1日)
本社所在地	〒190-8680 東京都立川市栄町6丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042-536-1111(代表)／FAX 042-536-1272
代表者名	代表取締役社長 村山正道
資本金	15百万円
株主	株式会社 立飛パートナーズ
事業内容	グループ持株会社 グループ経営方針策定 グループ財務・広報 グループ総務・経理 グループ及び自社所有不動産開発 新事業推進 宅地建物取引業(東京都知事(3)第95692号)

グループ従業員数	313名(嘱託を含み役員顧問は含まない)
----------	----------------------

令和5年10月1日現在

TACHIHI GROUP

傘下グループ企業

会社名・住所等	事業内容
株式会社 立飛リアルエステート 〒190-8680 東京都立川市栄町6丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042-529-1111／FAX 042-536-1110	開発対象不動産の所有及び賃貸
株式会社 立飛リースホールド 〒190-0011 東京都立川市高松町3丁目1番5号 新立川ビル5階A室 TEL 042-529-1112／FAX 042-529-1113	開発対象外の特定不動産の 所有及び賃貸 住宅開発 宅地建物取引業(東京都知事(01)第106760号)
株式会社 立飛サービス 〒190-8680 東京都立川市泉町935番地27 236号棟 TEL 042-536-5501／FAX 042-529-7970	自動販売機による物販 保険代理店
株式会社 立飛プロパティマネジメント 〒190-8680 東京都立川市栄町6丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042-527-5556／FAX 042-536-7776	一般建設業 (許可番号:東京都知事(般-2)第151831号) 一級建築士事務所 (許可番号:東京都知事登録 第63661号) 警備業(警備業法認定番号: 東京都公安委員会 第30003815号) 不動産管理関連業務 建築物清掃業 (登録番号:東京都29清第1047号) 産業廃棄物収集運搬業 (許可番号:第13-00-185066号) 登録電気工事業 (登録番号:東京都知事登録 第275179号)
株式会社 立飛ストラテジーラボ 〒190-0014 東京都立川市緑町3-1 W2 2階(GREEN SPRINGS マネジメントオフィス) TEL 042-524-2240／FAX 042-524-2241	不動産の開発企画他 宅地建物取引業(東京都知事(2)第101306号) 飲食運営及び物販
株式会社 立飛ホスピタリティマネジメント 〒190-0014 東京都立川市緑町3-1 W1(SORANO HOTEL内) TEL 042-540-7777／FAX 042-540-7851	ホテル運営 オーベルジュ(宿泊、レストラン、宴会場)の経営・運営 ビール製造・販売

令和5年12月31日現在

各所在地



日中だけでなく、早朝や夜間も、地域の人々が行き来する GREEN SPRINGS

<https://www.tachihi.co.jp/>





この地から、夢を、未来へ。 Crossroad to future